

関西大学大学院 外国語教育学研究科 客員教授講演会

AI×人間 —生成 AI時代の教育・学習

當作 靖彦 客員教授

(カリフォルニア大学サンディエゴ校 名誉教授)

2025年12月13日(土)

10:00 – 11:30 オンライン

- 参加費 無料
- 事前申込み 必要



申込み×切：

2025年12月11日(木) PM23:59まで

<https://forms.office.com/r/ni0SKAffa5>



概要：

生成AIの進歩は目覚ましく、その能力は日々向上し、我々の生活の中にすでに深く浸透してきている。教育の分野では、生成AIは学習を妨げ、人間の成長を阻害するものだという議論があり、当初敬遠するものが多かったが、その活用は着実に進み、もはや避けてはいけない状況になっている。生成AIを単に技術的な効率化のツールとして使うのではなく、学習効果を向上させ、深い学習を促進し、様々なスキルの獲得、発展を確実にするものとして使うことが望まれる。しかし、現実には、あるから使うという場当たりのな使い方をしている教師が多く、生成AIの持つ力を十分に活かしていない場合が多く見られる。この講演では、生成AIというツールによって、教育が非人間的なものになるのを避け、教育の中心にある教師と学生という人間のニーズ、価値観を優先し、学習効果をあげ、学生の人間としての成長を助け、これまで以上に人間らしい学びを実現しようとする未来志向の教育・学習アプローチについて議論する。具体的には、AI主導の世界に向けた探究スキルと倫理的基盤を築く方法、生成AIを活用して、創造力、批判的思考、そしてより深い探究力を引き出す方法を検討する。

略歴：

カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)グローバル政策・戦略大学院(GPS)名誉教授。カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院修了(PH.D)。専門は第二言語習得理論及び外国語教授法。アメリカ外国語教育ナショナルスタンダードズ理事会日本語代表理事、コンピュータと日本語教育学会会長、一般社団法人日本外国語教育推進機構(JACTFL)の理事、日本語教育学会理事を務める。

ASSOCIATION OF TEACHERS OF JAPANESE会長、外国語教育ロビー団体JOINT NATIONAL COMMITTEE ON LANGUAGES日本語代表、全米日本語教育学会会長など米国の外国語教育関連機関の要職を歴任。“YOOKOSO! INVITATION TO CONTEMPORARY JAPANESE”。“YOOKOSO! CONTINUING WITH CONTEMPORARY JAPANESE”(MCGROW-HILL HIGHER EDUCATION)。『NIPPON 3.0の処方箋』(講談社)、『ドラえもののどこでも日本語』(小学館)、『日本語教師の専門能力開発：アメリカの現状と日本への提言』(日本語教育学会)、“SOCIAL NETWORKING APPROACH TO JAPANESE LANGUAGE TEACHING – THE INTERACTION OF LANGUAGE AND CULTURE IN THE DIGITAL AGE”(ROUTLEDGE)等、外国語教育・日本語教育に関する著書多数。国際文化フォーラム(TJF)主宰の「外国語教育のめやす」作成プロジェクトの監修者。2015年第13回日本語教育学会賞受賞。2021年AMERICAN ASSOCIATION OF TEACHERS OF JAPANESE LIFELONG ACHIEVEMENT AWARD受賞。2022年、文化庁長官賞受賞。

お問合せ：関西大学大学院外国語教育学研究科オフィス
gaiji@ml.kandai.jp